

■**神坂雪佳** 図案家。光琳風を能くし、京洛の染色界に大いに貢献、宮中へも多くの作品を奉じた。

かみさかせっか

薩長同盟・・・1866＝ 京都で、神坂吉重・シゲの長男に生まれる。本名吉隆。

明治維新・・・1868＝ 2歳：

明治6年政変 1873＝ 7歳：

初の民間工場1875＝ 9歳：

明治14年政変1881＝15歳： 鈴木瑞彦に師事し四条派の画法を学ぶ。

新体詩抄・・・1882＝16歳： 弟で日本画家の辯之助(松濤)生まれる。

秩父事件・・・1884＝18歳：

帝国大学始・・・1886＝20歳： 後に漆芸家となる弟祐吉が誕生。

国民之友始・・・1887＝21歳： 川島織物工場に入り、織物図案を実地研究する。

初の対等条約1888＝22歳： 品川弥二郎から装飾芸術の重要性を聞かす、上京し、岸光景に師事して工芸図案や琳派の研究を始める。

帝国憲法発布1889＝23歳：

帝国議会始・・・1890＝24歳： *京都美術博覧会で四等賞となったのを皮切りに、諸展覧会で次々受賞し始める。

大津事件・・・1891＝25歳： 青年作家懇親会の創設委員となる。

郡司千島探検1893＝27歳： 京都美術協会に入会する。

日清戦争始・・・1894＝28歳： 第1回芦手絵会展を開催する。小野村テイと結婚。京都美術協会第三部陳列会図案審査員となったのを皮切りに、次々諸展覧会・競技会の審査員等を務め始める。

白馬会・・・1896＝30歳： 発足した京都漆工会の図案会委員・意匠考案委員となる。京都市立工芸図案調整所主任(技師)となる。日本漆器蒔絵共進会より功労賞がおくられる。

八幡製鉄始・・・1897＝31歳： (五二会新図案)の創刊編集に携わる。パリ万博出品奨励協会評議員となり「綴織テーブル掛図案」が入選。

子規句歌革新1898＝32歳： (京都美術協会雑誌)の編集者となる。農商務大臣より功労賞。

Bushidou・・・1899＝33歳： 長男が誕生。京都市技師となる。成立した京都彫技会の委員となる。

ピアノ国産化・・・1900＝34歳： 京都市美術工芸学校所属図案調整所技師となる。京都美術協会の常設委員となる。(京都美術協会雑誌)第101号より表紙デザインを担当する。*パリ万博で「平日地春秋蒔絵書棚」が金牌。

田中正造直訴1901＝35歳： 長女が誕生。イギリスのグラスゴー万博視察を兼ねて、欧州各国の工芸図案取調のため渡欧し、

教科書疑獄・・・1902＝36歳： 帰国。

日比谷公園・・・1903＝37歳： 京都市立美術工芸学校嘱託教員を兼務。次男が誕生。セントルイス万博に「草花図案4点」を出品。

日露戦争終・・・1905＝39歳： 天洋丸・地洋丸の内部各室の装飾を担当。

満鉄発足・・・1906＝40歳： 漆芸家と図案家の研究団体京漆園が結成され、園友となる。

韓国反日暴動1907＝41歳： 美術工芸研究会の佳美会を設立し、以後、展覧会開催。

伊藤博文暗殺1909＝43歳： 佳美会を佳都美会と改称する。

韓国併合・・・1910＝44歳： 京都美術協会創立20年記念式で表彰。競美会を設立し、以後、展覧会開催。宮崎タンスの婚儀用具研究会の設立に参加し、以後、長期にわたって指導。

大逆事件判決1911＝45歳：

明治天皇没・・・1912＝46歳： 競美会を佳都美会に吸収合併。

大正政変・・・1913＝47歳： 知恩院で光悦忌を行い、光悦会の発起人となる。次女が誕生。京都市から御大礼献上の諸品の図案制作および監督を任命される。

第一次大戦始1914＝48歳： サンフランシスコで開催されるパナマ太平洋国際博覧会の鑑査官となる。

21ヶ条要求・・・1915＝49歳： 小川妙顕寺で光琳二百年忌を執り行う。

本格政党内閣1918＝52歳： 賀陽宮の依頼により、草花図大幅を揮毫。青蓮院内華嚴殿襖80枚に草花図を揮毫する(1920年完成)。

ベルサイユ条約・・・1919＝53歳： 佳都美会の組織を改め、佳都美村と改称する。東宮立太子式に際し、皇后宮より依頼されたお祝いの文台重視箱を制作。久邇宮御殿の装飾に金地大額「四季草花」を制作。

大暴落・・・1920＝54歳： 台湾図案会の顧問となる。

原敬首相暗殺1921＝55歳： フランス=サロン日仏美術交換展の京都工芸鑑査特別委員となる。

水平社結成・・・1922＝56歳： 師岸光景が死去。

関東大震災・・・1923＝57歳： 佳都美村解散。東宮大札に京都市より献上の蒔絵飾棚の図案と巻物金銀泥絵を制作。

護憲三派圧勝1924＝58歳： 佳都美村を京都美術工芸会として再組織し、全国より作品を公募する。

治安維持法・・・1925＝59歳： 久邇宮家に「四季草花図」双幅を制作。色漆絵の研究を始める。

日本時代始・・・1926＝60歳： 京都美術工芸会を京都美工院と改称。フランス政府よりカンボジア勲章勲四等が授与される。

共産党事件・・・1928＝62歳： *昭和御大典記念の能楽帖「楽未央帖」を制作。雪佳図案の「飾花車」を京都美工院会員で制作し、後に日本政府よりヒトラーに贈呈。伏見宮の依頼により金地六曲屏風「春秋草花図」と六曲中屏風「菊花図」を制作。

世界恐慌・・・1929＝63歳： 京都選匠会・京都美工院・昭和工芸協会共催で、京都美術工芸展を開催する。

海軍軍縮条約1930＝64歳： 京都美工院・作品公募制度を廃止する。

満州事変・・・1931＝65歳：

国際連盟脱退1933＝67歳： この年の京都美工院展を最後に展覧会の開催を中止。伏見宮家に「四季草花図」屏風一雙二組を制作。

芥川直木賞始1935＝69歳： 京都美工院が再度佳都美村と改称する。

二二六事件・・・1936＝70歳： NHKのラジオ放送「光悦の芸術」を担当する。宮崎タンス本店新築披露展覧会まで続いた。

日中戦争始・・・1937＝71歳： フランス政府よりカンボジア勲章勲三等を授与される。伏見宮家新邸の食堂装飾図案を制作。

健保+総動員 1938＝72歳： 弟が死去。嵯峨野会を設立する。

大政翼賛会・・・1940＝74歳： *高野山金剛峯寺に下賜の天皇陛下直筆額の表装および外箱装飾図案を制作して、

日米開戦・・・1941＝75歳：

・・・1942＝76歳： 没した。